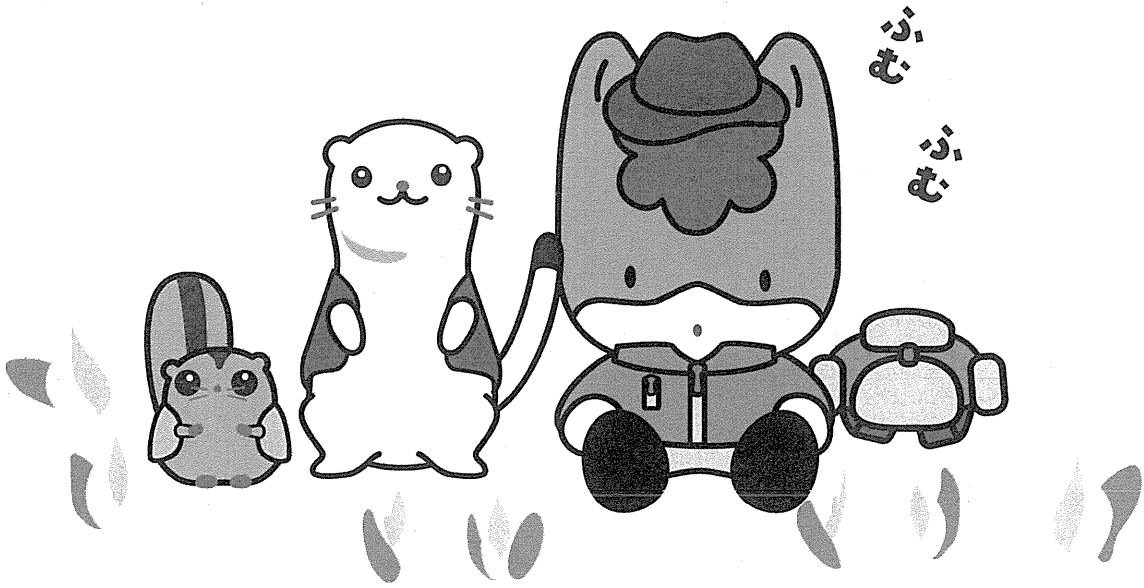


令和4年度

邑楽郡青少推だより



邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会

令和4年度 邑楽郡青少推だより発行実績

No	期 日	内 容
1	5月18日	近藤会長あいさつ
2	5月18日	柿沼次長寄稿文 子供たちの未来のための人づくり・地域づくり
3	6月1日	おぜのかみさまイラストについて
4	6月15日	交通安全条例の改正
5	7月1日	若者の不正受給
6	7月15日	ジェンダーフリー
7	8月1日	デジタル機器の健康被害
8	8月15日	キラキラネーム
9	9月1日	マスクコミュニケーション
10	9月15日	ギフト支援
11	10月1日	少子化対策
12	10月15日	子どもの事故防止
13	11月1日	子供・若者育成支援
14	11月15日	秋の読書推進月間
15	12月1日	ヤングケアラー支援
16	12月15日	柿沼次長寄稿文 ドーハの「悲劇」が「奇跡」に、そして、「歓喜」へ

邑楽郡青少推だより 第1号



令和4年5月18日発行

集大成の年を迎えて

邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会長 近藤 千秋

風薫る皐月、邑楽郡下5町青少推の皆様には、お変わりなくご活躍のことと思います。今年は本来、推進員委嘱替え後3年目であり、青少推活動1期集大成の年であります。

しかしながら、この2年半新型コロナウイルスの蔓延により、多くのイベントが中止に追い込まれ、多人数の活動も自粛とされ、以前のような形態での活動は出来ない状況が続いています。

邑楽郡の青少推活動は県内郡市単位の中でも非常にまとまっており、情報交換や親善交流も充実した内容であると思います。「コロナ禍自粛は委縮ではない」という考えを、行動で現し、新たな取り組みにチャレンジされているみなさんの心意気に感嘆しています。

缶バッチ製造機の活用も日を追って拡大しているようで、3年越しの開催となります、東部圏青少年育成推進研修会【令和4年9月3日(土) 於コスメ・ニスト千代田町プラザ】の会場で、是非紹介したいと思います。郡と各町の作品展示と缶バッチ制作パフォーマンスが披露できたらと考えています。現在、郡では缶バッチ制作マシンと32mmと56mmのアタッチメントを所有しています。44mmを購入した町もあると聞きました、郡同様快く無償貸与を宜しく願います。

実行委員会での承認が必要ですが、今回の研修会は「家庭教育支援」をテーマにし、県の家庭教育支援施策の説明や、家庭教育に関わる講演を主体にすることに変更はありません。依然コロナ禍ではありますが、地元開催です。一人でも多くの推進員参加をお願いします。

一昨年、昨年と発行された「邑楽郡青少推だより」は、青少推活動に関する情報提供、紙面交流の場として多くの場面で活用され大好評でした。

今年度は青少推活動もあまり自粛を要請されないのではないかとこの予想もありますが、是非お願いしたいと仲間の声が挙がりまして、継続事業とすることに致しました。皆様方には寄稿等お願いすることもあるかと思いますが、ご協力の程宜しく願います。但し、活動の状況を注視しながら、過去より少ない頻度での発行とします。ご了承ください。

私事になりますが、3回目のワクチン接種後10日ほどの副反応期を経て、3カ月後の今、体重は7kg減、食欲は戻っていますし、今月末には健康診断を受診しますので、心配はしていませんが、やはり健康一番、皆様どうぞ御身大切にご活躍くださいませ。

また、新型コロナウイルス感染症患者が増えて来ています。イベントへの影響が不安視されますが、開催できることを祈るばかりです。

文末になりますが、今年度東部教育事務所長に阿久津貴英様をお迎えしました。コロナ時代の新しい環境の下ですが、邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会に今後も変わりなく、お力添えを賜りますよう心よりお願い申し上げます。

発行/邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会

編集・印刷/東部教育事務所生涯学習係

〒373-0033 太田市西本町60-27

TEL:0276-31-7151/FAX:0276-31-7101

邑楽郡青少推だより 第2号



令和4年5月18日発行

『子供たちの未来のための人づくり・地域づくり』

東部教育事務所次長 柿沼 和広

日頃より、近藤千秋会長様をはじめ、邑楽郡の推進員の皆様には青少年の健やかな成長のために御尽力いただき、感謝申し上げます。邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会事務局を仰せつかります東部教育事務所次長（生涯学習係長）柿沼 和広と申します。2年目となります。今年度も、明るく〇〇な富岡小百合青少年育成コーディネーターともども、どうぞよろしく願いいたします。

さて、東部教育事務所生涯学習係では、今年度も「地域と学校の連携・協働の推進」「家庭教育支援の推進」を重点に進めて参ります。

これからは、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という新学習指導要領の目標を学校と地域が共有し、未来の作り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、相互の連携・協働の下に学校づくりと地域づくりを進め、一体となって子供たちの成長を支えていくことが必要になります。

そこで、「地域と学校の連携・協働の推進」においては、「地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進」に特に力を入れて取り組んでいきます。

「地域学校協働活動」とは、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・期間等の幅広い地域住民等の参画を得て地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行うさまざまな活動のことです。今後は、これまで各地域で実施されていた地域による学校への「支援」から、地域と学校のパートナーシップに基づく双方向の「連携・協働」へと発展させていくことを目指していく必要があります。

「コミュニティ・スクール」とは、法律に基づき教育委員会により任命された委員が、一定の権限を持って、学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関である「学校運営協議会」を設置した学校のことです。これからの公立学校は、「開かれた学校」から更に一步踏み出し、目標やビジョンを地域住民等と共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」へと転換していくことが重要です。

次に、「家庭教育支援の推進」においては「児童虐待の防止」に特に力を入れて取り組んでいきます。6月には管内で家庭教育支援に携わる関係者に緩やかなネットワークを構築していただくために「未来をひらく家庭教育のつどい」を開催する予定です。当日は東部児童相談所職員に「児童虐待防止」をテーマでご講演をいただく予定になっております。

今年度も、東部教育事務所生涯学習係では、関係するすべての方の協力をいただきながら、感染症対策を充分に行い、「子供たちの未来のための人づくり・地域づくり」を進めて参ります。今後ともお力添えをお願いいたします。

発行/邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会

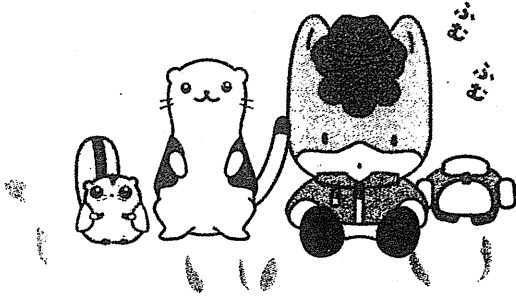
編集・印刷/東部教育事務所生涯学習係

〒373-0033 太田市西本町60-27

TEL:0276-31-7151/FAX:0276-31-7101

邑楽郡青少推だより 第3号

令和4年6月1日発行



「おぜのかみさま」のイラストが新しくなりました。

◀ のイラストは、ハイキング姿のぐんまちゃんの左隣にコジョ（オコジョ）、その隣にマネ（ヤマネ）が、仲良く並んで、インターネットの正しい使い方について学んでいるところです。

山には多くの危険がありますが、正しい知識と装備があれば、安全・安心に山登りを楽しむことができます。

インターネットも、正しい知識とルールを守れば、犯罪やトラブルに巻き込まれることなく、安全・安心に、楽しく利用することができます。

小学生を「マネ（ヤマネ）」、中学生を「コジョ（オコジョ）」として、ぐんまちゃんと一緒に、楽しくインターネットのルールを学んでほしいという願いが、イラストに込められています。

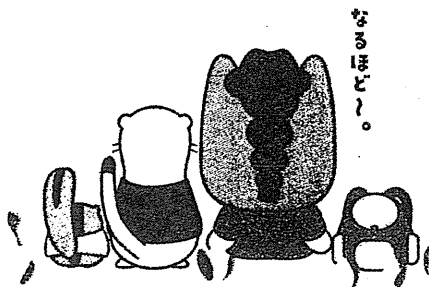
長引くコロナ禍で、スマホの長時間利用が懸念されています。子どもだけではなく、多くの若者が、在宅時間をSNS利用や動画視聴に費やしているようです。就寝時刻の遅れや乱れ、視力や集中力の低下など、心身への悪影響も心配されます。

一方、過去1年間でSNSを利用した人の8.9%が誹謗中傷の被害経験があります。なかでも、20歳代が16.4%、15～19歳が10.9%、30歳代が10.7%と、ネットに慣れ親しむ若い世代での割合が高くなっています。（総務省調査による）

インターネットで被害に遭わないようにするのはもちろんですが、加害者にならないようにするためにも、正しいルールを身に付けなければなりません。

インターネットの世界はめまぐるしく変化し、それに伴う危険やその対策も常に変化しています。リュックの中に、新しい知識をたくさん詰め込んで、インターネットを安全・安心に使ってほしいと思います。

①おくらない、②ぜったいあわない、③のせない、④かきこまない、⑤みない、⑥さがさない、⑦まもる



発行/邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会
編集・印刷/東部教育事務所生涯学習係
〒373-0033 太田市西本町60-27
TEL:0276-31-7151/FAX:0276-31-7101

邑楽郡青少推だより 第4号



令和4年6月15日発行

県交通企画課によると、2021年に県内で自転車が絡む事故は2002件あり、そのうち、自転車側や歩行者など関わった人が死亡、または重傷を負ったのは70件で、うち56件は自転車側に何らかの違反が認められました。

また、同年に登下校時の自転車事故に遭った中高生は742人で前年より169人増えています。

こうした状況を踏まえ、自転車に乗る人の意識を高め、ルールやマナーを守ってもらおうと、県警は自転車の事故や悪質・危険な運転が多いとされる「自転車指導啓発重点地区・路線」33カ所(※)を公表しました。

※郡内：邑楽町中野地区

大泉町坂田北交差点～坂田交差点

重点地区・路線の選定に当たっては、数値基準を設けず、地元の交通事情に詳しい県内16署が中高生をはじめとした自転車の交通量、自転車事故の発生状況、住民の要望等を基に選び、毎年見直されています。

自転車事故の致命傷は6割以上が頭部損傷によるものです。ヘルメットを着用することにより致死率が1/3以下になるというデータもあります。

ヘルメット着用については、道路交通法に定められており、保護者は13歳未満の子どもにヘルメットを着用させる努力義務があります。自転車のチャイルドシートに乗せるときだけでなく、子どもが自転車を運転するときも同様にヘルメットを着用するよう努めなければなりません。

群馬県では、2021年4月から、子どもだけでなく大人もヘルメットを着用するよう努めなければならないことになりました。(交通安全条例改正により)

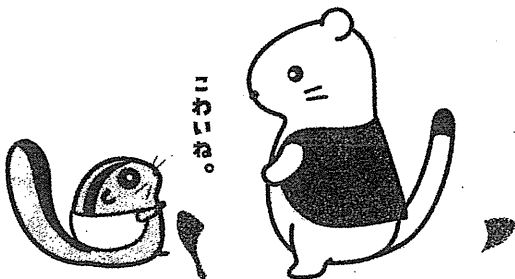
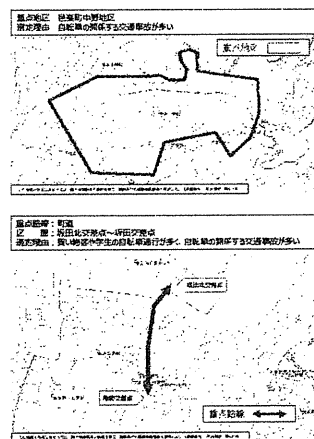
また、自転車事故の削減に向け、自転車道等を整備しています。矢羽根型路面標示(※)も、よく見かけるようになりました。

※車道での自転車が通行する場所と進行方向の目安を記した表示

自転車利用は、健康増進、環境保全など様々なメリットがあります。大切な命を守るために、交通ルール・マナーを守って、楽しく乗ってほしいと思います。

自転車指導啓発重点地区・路線図
大泉警察署

- 自転車は、一時停止場所では必ず停止し、交差点では必ず左の安全空間確保など、交通ルールを守らねばならない。
- ◎ 自転車乗車中の若者の飲酒運転の約6割が確認です。大切な命を守るため、自転車に乗るときは必ず飲酒を避けましょう。



発行/邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会
編集・印刷/東部教育事務所生涯学習係
〒373-0033 太田市西本町60-27
TEL:0276-31-7151/FAX:0276-31-7101

邑楽郡青少推だより 第5号



令和4年7月1日発行

新型コロナウイルス対策で支給された国の持続化給付金を巡り、組織化されたグループによる巨額被害が相次いで発覚しています。マルチ商法のように連鎖的に若者を集め、SNS（交流サイト）を通じて申請方法を指南するという手口も判明しています。

警察庁によると、被害額は5月末までに32億円を超え、3,700人以上が摘発されています。年代別では、20代が最多の62%。10代を含む20代以下で7割近くを占めています。

「給付金をもらってビットコインに投資すれば倍にできる。」詐欺グループの勧誘役だった都内の大学生は、こんなうたい文句で友人の大学生や後輩の高校生らを誘っていました。そして、SNSを活用しながら名義人を集め、グループチャットを通じて、指南役が持続化給付金の申請方法を細かく指示し、申請に必要な架空の確定申告書は、作成役が作成していました。

なぜ多くの若者が引き込まれてしまったのでしょうか。

多くの若者は仮想通貨投資を名目に「他の人を紹介すれば報酬が得られる」と誘われていました。「違法ではない」という勧誘役や指南役の言葉を信じていたとみられ、違法性の認識も低かったと思われる。

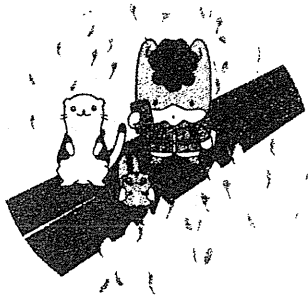
SNSによるつながりは、同じ考え方や価値観を持った同質性の高い者同士でネットワークが完結し、異質な意見が入り込みにくくなっています。そのため、友人や先輩の意見や価値観を正しいと錯覚し、自分たちにとって都合の悪い情報を受け入れる許容力がなくなってしまうと思われる。

内閣府の「子供・若者の意識に関する調査」によると、①自分の部屋、②家庭、③学校、④職場、⑤地域、⑥インターネット空間の6つの場所を、『自分の居場所』と思うかという問いに対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答したのは、①自分の部屋89.0%、②家庭79.9%、⑥インターネット空間62.1%と続きます。

若者にとっては、SNSなどで構築されたオンラインの人間関係が、居心地の良い自分の居場所であり、情報発信・収集の手段として活用する場なのです。

国民生活センターには、若者を中心に「友人の誘いに乗って受給申請してしまった」「給付金を返還したい」といった相談が相次いでいます。

担当者は、「SNSなどで友人や先輩といった身近な人から勧誘され、犯罪の意識がないまま不正受給するケースが多い。安易なもうけ話を持ちかけられたら、まずは冷静になって家族や周囲の大人、行政機関に相談して欲しい」と話しています。



発行/邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会

編集・印刷/東部教育事務所生涯学習係

〒373-0033 太田市西本町60-27

TEL:0276-31-7151/FAX:0276-31-7101

邑楽郡青少推だより 第6号



令和4年7月15日発行

子どものおもちゃにジェンダーレス（※）化の動きが広がっています。

※男性・女性という生物学的な性差を前提とした社会的・文化的性差をなくそうとする考え

売り場で「男の子向け」「女の子向け」といった表示をなくしたり、玩具メーカーが、男女関係なく手に取りやすい商品を開発したり。性別を理由に、子どもが好きな遊びをあきらめなくてもいい環境作りが始まっています。

3年ぶりに国内最大規模の玩具見本市「東京おもちゃショー」を開催した日本玩具協会は、『日本おもちゃ大賞』の「ボーイズ・トイ」「ガールズ・トイ」の部門分けを廃止しました。性別で分けるのは時代にそぐわないとの声があったからだそうです。

「女の子向けとされるおもちゃで遊ぶと周囲にからかわれる」と心配する男子は多いようです。男の子でも人形遊びがしやすいようにと、男の子のお世話人形が発売されました。対象年齢が1歳以上の幼児向け人形で、男の子の赤ちゃんが販売されるのは初めてだそうです。男児が手に取りやすいように、広告やパッケージに男児を起用したり、箱の色をピンクではなく、ブルーにするなどの工夫をしています。

幼児期の人形遊びは心の発達につながります。性別区分がなくなれば、人形遊びを男女で楽しむことができます。

他にも、服や髪型を自由に組み合わせて、性別を意識せずに楽しめる人形や、男児向け玩具のイメージもあるミニカーでも、女兒に人気のあるディズニーキャラクターを車体デザインで表現したものを販売しています。

人形遊びやままごとは女の子、ブロック遊びやミニカーは男の子という決めつけは、子どもの興味関心や遊びに水を差すばかりではなく、心を傷つけることもあります。

子どもたちには、自由に安心して遊べる環境の中で、遊びをとおして男女差がないことを学んでほしいと思います。

地域からジェンダー平等研究会（上智大学 三浦まり教授）による「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数」は、都道府県別に男女平等の度合いを政治、行政、教育、経済の4分野と28項目で分析したものです。

群馬県は4分野の全てで30位台（政治32位、行政38位、教育35位、経済38位）となっています。

ジェンダー・ギャップが大きいということは、女性が男性と比べて教育や就労の機会が制限され、声を意思決定に反映させにくいことを意味しています。

「女だから／男だから」と性別にとらわれずに、個性と多様性を尊重し、自身の可能性を信じて、誰もが生きがいを感じられる社会の実現を目指していきましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



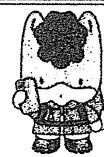
発行/邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会

編集・印刷/東部教育事務所生涯学習係

〒373-0033 太田市西本町60-27

TEL:0276-31-7151/FAX:0276-31-7101

邑楽郡青少推だより 第7号



令和4年8月1日発行

スマートフォンの普及や、教育現場での情報通信技術（ICT）活用が進む中、近視や内斜視（視線が内側に寄る状態）の増加など、子どもの目の健康への懸念（※）が年々高まっています。

※文科省の2020年度学校保健統計調査によると、裸眼の視力が1.0未満の小学生は37.52%、中学生は58.29%で過去最多。

国立成育医療研究センターは「コロナ禍での外出自粛やデジタル化などの生活の変化が、近視の進行しやすい6～8歳の目に影響している」と指摘します。特に、スマホで長時間遊ぶ子どもの急性内斜視や、遠くのものにピントが合わない近視が増えています。

また、近くのものを見る時間が長いほど眼軸は伸び、近視は進むため、外遊びなど屋外での活動をすることが有効な予防策です。遠くを見る時間が増え、日陰でも室内よりは明るい日光を浴びることで近視の進行が抑えられます。

さらに、デジタル機器は可能な限り大きいスクリーンの端末を選び、目との距離は30センチ以上を保つ。30分に一度は目を離して休憩をとること。そして、目が未発達な未就学児に関しては、スマホを使わないことが好ましいようです。

一方、WHO（世界保健機関）は世界で11億人もの若者（12～35歳）が、携帯型音楽プレーヤーやスマートフォンなどによる難聴のリスクにさらされていると警鐘を鳴らしています。

そして、「80dB（※）の音量を1週間当たり40時間以上、98dBの音量を75分以上聞き続けると難聴の危険がある」と提唱しています。

※60dB：一般的な会話、80dB：地下鉄の車内、ピアノ、100dB：電車が通る時のガード下

いわゆる「ヘッドホン（イヤホン）難聴」から若者たちを守るには、何より大音量にさらされる機会を減らすことが大切です。ヘッドホン（イヤホン）をしたままでも会話が聞き取れるくらいの音量なら、ほぼリスクはないと言われています。

しかし、疲れている時や睡眠不足など、体調によって影響を受けることもあります。耳が詰まった感じがする、耳鳴りがする、会話の音が聞き取りにくいなど、少しでも耳に異常を感じたら、すぐにヘッドホン（イヤホン）の使用を止め、耳鼻科を受診することが大切です。早期であれば、投薬治療等で治る可能性も高くなります。

音を感じるためには、内耳の中の有毛細胞の先端にある「聴毛」が音の振動をキャッチし、それを電気信号に変換して脳に伝達するという一連の流れがあります。この聴毛は非常に繊細で、大きな音に長時間さらされることによって、抜け落ちたり傷ついたりすることがあります。一度傷ついた聴毛は、再生することはありません。

目も耳も、酷使し続けたツケは、本人が想像しているよりはるかに深刻です。失われた視力や聴力は、完全に回復させることが、ほぼ不可能だからです。

過度の使用を避け、適度に休憩するなどの習慣を身に付けてほしいです。

発行/邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会

編集・印刷/東部教育事務所生涯学習係

〒373-0033 太田市西本町60-27

TEL:0276-31-7151/FAX:0276-31-7101

邑楽郡青少推だより 第8号



令和4年8月15日発行

光兜、児輝、天、波亜、絆希、音暖、希星、輝星、咲恋、心詩——。これらは実在する新生児の名前です。皆さんは読めますか？

らいと、るき、しえる、なるあ、ばき、のの、きらら、きあら、えれん、こんず——と読み、前半5つが男児名、後半5つが女児名だそうです。

格好が良くて個性的な名前を求める親心の表れで、「キラキラネーム」と呼ばれる個性的な名前が増えています。

先に音の響きやリズムで好みの読みを決めておき、後から独自の当て字をはめ込んだり、外国語と絡めるのも人気です。天(しえる)はフランス語で天や空を表すシエル、月雫(るな)はイタリア語で月を意味するルーナからの名前です。

これらの独特な読み仮名は漢字本来の読みや意味からは外れていますが、戸籍法改正(※)に向けた法制審議会で認められる方向です。

※氏名の読み仮名は現行の戸籍法に限定がなく戸籍に記載されていないが、政府は、行政手続きのデジタル化を進めるため、読み仮名の記載を法制化する方針を決めた。

読み仮名の許容範囲としたのは、「権利の乱用や公序良俗に反する場合を除く」「音訓読みが慣用で読めるか、字義との関連がある」「正当な理由があるか、既に社会的に通用している」の3案ですが、いずれも「光宙」を「ピカチュウ」、「騎士」を「ナイト」、「陽葵」を「ひまり」と読ませるなど、外国語由来のものや、字義から連想できる読み仮名などが、広く認められます。

明治、大正期の小説家、森鷗外は、自身の3男2女に、於菟(おと)、茉莉(まり)、不律(ふりつ)、杏奴(あんぬ)、類(るい)、と洋風の名前をつけました。

元祖キラキラネームとも思えるこれらの名前は、鷗外が、海外でも通じるようにとの願いを込めてつけたそうです。次男は早世しましたが、それぞれが、名前負けしないほど個性的で、父親を愛する大人に育ちました。

一方、高校卒業を前に、親から付けてもらった名前を変更した若者がいます。変更前の名前は「王子様」。母親は「私の大事な息子、私にとっての王子様」という理由で名付けたそうです。名前だけが注目され、成長するにしたがって、生きづらさを感じた彼は、ひとりで家庭裁判所へ出向き、改名の手続きをしました。新しい名前は「肇(はじめ)」。

この名前で、はじめの一步を踏み出したいという願いが込められています。

子どもの名前は、親から子どもに贈られる最初の「ギフト」です。そして、こんな風に育ててほしい、こんな人生を歩んでほしいと、親の願いが込められた一生の宝物です。

全ての子どもには、生まれた時から名前を持つ権利があります。名付けられた名前でも不愉快な思いをしたり、人生を左右されたりすることなく、自分の名前に誇りを持って生きて欲しいと思います。

発行/邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会

編集・印刷/東部教育事務所生涯学習係

〒373-0033 木田市西本町60-27

TEL:0276-31-7151/FAX:0276-31-7101

邑楽郡青少推だより 第9号



令和4年9月1日発行

政府は、新型コロナウイルス対策を緩和する「脱マスク」の基準を示しています。

人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合においては、マスクを着用する必要はありません。また、就学前の子どもには、マスク着用を一律には求めています。

しかし、マスクを外し、素顔を見せることに抵抗を感じる人が、おもに若い世代で増えています。

今や、顔パンツ（※）とも呼ばれるマスク。「今さら外せと言われても・・・」という思いがあるのかもしれません。

※マスクを人前で外すことは、下着を脱ぐのと同じという意味

もともと、マスクには、対人不安に対して心の安全を確保する、心理的な働きがあるとされています。

思春期の子どもたちにとって、マスクは他人の視線から自分を守るツールのひとつとなっているのでしょう。

アメリカブラウン大学のディオニー博士は、コロナ禍で、0～3歳までの子どもの言語機能が基準値を大きく下回っていると懸念しています。

そして、この落ち込みの原因を「マスク生活」「外出自粛等によるコミュニケーション機会の減少」とであると分析しています。

さらに、「メラビアン法則」(※)によると、人は、話の内容【言語】よりも、表情【視覚】や声質【聴覚】の情報を優先するとされていますが、マスクで覆われた目だけのコミュニケーションでは、子ども達は、相手の表情を読み取ることも、自らの表情を作ることでもできなくなってしまうのです。

※コミュニケーションには、言語情報7%、視覚情報55%、聴覚情報38%の割合で影響する

幼い子どもは、周りの大人たちの表情を見て、相手の感情を理解する能力を身に付け、相手の気持ちに寄り添う心を学んでいきます。

私たち大人は、はっきりと大きな声でことばを発したり、身振り、手振りなどのボディランゲージを使って、たとえマスク越しでも、表情豊かに、自分の気持ちをしっかりと伝える工夫をすることが大切だと思います。

新型コロナウイルス感染症対策
子どものマスク着用について

人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合においては、マスクを着用する必要はありません。また、就学前の子どもには、マスク着用を一律には求めています。

就学児について

(小学校から高校段階)



マスク着用の必要がない場面

- 屋外
 - ・人との距離が確保できる場合
 - ・人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わないような場合
 - ＜例＞裸で行う運動や遊戯、プール内など密にならない遊戯
 - ＜例＞屋外で行う劇団活動（自然観察、学生演劇等）
- 屋内
 - ・人との距離が確保でき、会話をほとんど行わないような場合
 - ＜例＞一人で行動する劇団活動など密にならない遊戯

学校生活

屋外の運動場に限り、プールや屋内の体育館等をきめ、体育の授業や運動部活動、空下校の際にマスクを着用しない場合がある場合は、各施設が利用可能なガイドラインを参照してください。また、マスクを着用しない場合でも、マスクを着用している人と密に接しないよう注意してください。

マスクが手や顔に付着しないよう、マスクを着用し、着用し直さないよう注意してください。

就学前児について

保育所・認定こども園・幼稚園等の



2歳未満

マスクの着用は推奨しません。

2歳以上の就学前の子ども

他人との距離が確保できず、マスク着用を一律には求めています。マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意した上で着用しましょう。

▶ 鼻漏れ、耳中通過防止の観点から、マスクが鼻や耳、顔までしっかりと密着することを推奨します。

▶ マスクの着用が困難な場合は、布マスク、紙マスク、顔全体を覆うフェイスシールドを推奨します。

▶ 顔全体を覆うフェイスシールドは、顔全体を覆うことが必要です。また、顔全体を覆うフェイスシールドは、顔全体を覆うことが必要です。

厚生労働省 文部科学省

発行/邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会
 編集・印刷/東部教育事務所生涯学習係
 〒373-0033 太田市西本町60-27
 TEL:0276-31-7151/FAX:0276-31-7101

邑楽郡青少推だより 第10号



令和4年9月15日発行

特異な才能を持ち、ギフテッド (※) と呼ばれる児童生徒の支援に文科省が乗り出すことになりました。

※「神から授けられた」という意味の英語が語源。突出した才能を持つ子どもを指す言葉として使われる。文科省の有識者会議は、言葉から連想する児童生徒のイメージが明確でないとして「特定分野に特異な才能のある児童生徒」としている。

記憶力や数学力などが優れながら、こだわりの強さや注意力の偏りなどを併せ持つ子どもは、周囲になじめず、不登校になる事例もあります。

特異な才能がある子どもに適した学習機会を確保するため、来年度にも特性に応じた高度なプログラムを提供する実証研究を開始する予定です。

具体的には、NPO や大学が開く教育プログラムに参加させたり、別教室で高度なオンライン授業を受けさせたりすることを想定しています。

対象者については、特定の子どもをラベル付けすることになりかねないことから、IQ など客観的な指標の活用を見送ります。また、同級生との生活が社会性を育む上で重要であるとして、「飛び級」にも慎重な考えを示しています。

海外の才能教育の仕組みは様々です。

米国の連邦法は、才能を持つ子どもについて「知能、創造性、芸術、リーダーシップ、特定の学問分野のいずれかの能力が並外れた者」と規定しています。科学技術分野の人材育成のため、1950年代から本格化しました。飛び級・飛び入学が定着し、18歳未満で大学進学する学生は毎年20万人前後います。

韓国では「生まれつきの優れた潜在力を啓発するために特別な教育が必要な人間」を選抜し、専門の教育機関に集めています。

シンガポールでは、小学生全員に選抜試験を行い、上位約1%が才能教育のプログラムを受けることができます。

これらの「取り出し型」に対して、フィンランドには子どもの才能を巡る定義はなく、周囲と同じ教室で授業を受ける一方で、個別に高度な課題を与えるインクルーシブ型 (※) を取り入れています。

※同世代との協同を重視することで共生社会の実現を目指す

群馬県では、予測困難な時代に生きる子どもたちが幸せに生きていくために、決められたルールの中で効率的に目的を達成するような教育ではなく、たとえ、目指す道が不透明であっても、あるいは、他の人が目指さないような領域であっても、自ら考えて動き出す人、いわゆる「始動人」の育成を目指しています。

そして、年齢や性別、国籍、障害の有無にかかわらず、すべての県民が幸福を実感できる自立分散型の社会の実現に向けた取り組みを行っています。

発行/邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会

編集・印刷/東部教育事務所生涯学習係

〒373-0033 太田市西本町60-27

TEL:0276-31-7151/FAX:0276-31-7101

邑楽郡青少推だより 第11号



令和4年10月1日発行

2021年の出生動向基本調査によると、18～34歳の未婚女性が希望する子どもの人数は平均1.79人と、1982年の調査開始以来、初めて2人を下回りました。未婚男性でも1.82人と過去最少です。

一方、結婚している夫婦を対象とした調査でも、理想とする子どもの数は平均2.25人、実際に持つ子どもの数が1.90人と、いずれも前回調査（15年）を下回り、最少を更新しています。理想とする数の子を待たない理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が52.6%で最も多く、出産や育児に前向きになりにくい現状が浮かびます。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、婚姻数は大幅に減り、厚労省の人口動態統計によると、2022年1～6月の出生数は38万4942人と、2000年以降で初めて40万人を割り、このまま推移すると、年間の出生数は過去最少だった昨年の81万人を下回る可能性があります。

さらに、経済協力開発機構（OECD）の調査では、日本の女性が家事や育児に割く時間は男性の4.76倍、韓国は4.43倍にのびます。ともに、男性の家事・育児参加時間は、女性の2割程度です。この両国の出生率が大きく低下していることは、育児に対する男女格差が、少子化の原因のひとつであるとも考えられます。

10月から始まる「産後パパ育休」は、通常の育休とは別に、子どもの出生後8週間以内に、最大4週間まで、2回に分けて取得できるようになります。これまでよりも、育休を取得しやすい柔軟な制度にすることによって、夫婦が協力して子育てに取り組めるようにしています。

また、男性が配偶者の出産や退院、復職などの時期に合わせ、育休取得を可能にすることによって、各家庭の事情に合わせて取得計画を立てられるようにしています。これは、配偶者の産後うつや離職防止につながることを期待するものです。

男性が育休を取得するには、企業が育休制度について知らせたり、取りやすい環境を整えることも必要です。そして、家事や育児の役割分担について、夫婦で話し合い、お互いの働き方を見直すことが大切です。

近年、結婚を望まない人が増えるなど、若者の価値観は多様化しています。しかし、将来や経済への不安から、結婚や妊娠をためらう傾向が強まったことも事実です。

推定よりも7年程早く進んだ深刻な少子化社会において、若者が結婚や子育てに希望を持てるようにするには、就労支援や子育て支援を充実させることによって、若者が経済的に安定し、安心して結婚や出産に臨める社会づくりが急務です。

そして、子育て世帯が孤立しないように、地域全体で子育て世帯を温かく見守ることが大切だと思います。

発行/邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会

編集・印刷/東部教育事務所生涯学習係

〒373-0033 太田市西本町60-27

TEL:0276-31-7151/FAX:0276-31-7101

邑楽郡青少推だより 第12号



令和4年10月15日発行

厚労省の2020年の人口動態調査によると、子どもの死因のうち不慮の事故は1～4歳で3位、5～9歳で2位となっています。

保護者らが子どもから目を離した際に、小さな子どもが一人で家から外に出て、事故に遭ったり、ベランダから転落したりするケースが後を絶ちません。

【発生しやすい事故例】

- プール、海や川、用水路など水回りの事故
- ベランダや窓、滑り台など遊具からの転落事故
- 飛び出しなど道路上での事故

8月には、富山県で2歳の男児が自宅から行方不明となり、その後、海上で発見されました。

富山県警によると、男児は自ら家のドアを開けて、外に出て用水路に転落した可能性があるそうです。

幼児は、危険を感じる認知機能が未発達で、興味があると衝動的に行動してしまいます。

また、自分以外の視点から物事を見ることも苦手です。ベランダなどから下をのぞき込むときに、どの程度体が乗り出しているかなどの客観的な判断ができず、転落してしまいます。

24時間子どもから目を離さずにいるのは不可能です。そのため、事故を未然に防ぐ工夫が必要です。

例えば、子どもがドアや窓の鍵を自分で開けられるようになったら、子どもの手の届かない位置に新たな鍵を設置したり、危険な場所へ行かないように、柵やベビーサークルを活用するのも有効です。

消費者庁のホームページでは、発生しやすい事故や予防策(※)をまとめて公開しています。

※転落事故を防ぐためにベランダに植木鉢やイスなど踏み台になるようなものを置かないなど

子どもたちを守るためには、丁寧な声かけが大切です。子どもの危険な行動を見かけたときには、その場でなぜ危険なのかを具体的に説明します。子どもは状況を思い出すことが難しいので、後から話してもあまり効果は期待できないからです。

子どもの成長は、大人が思っているよりもずっと早く、それとともに危険な場面も増えてきます。成長に合わせた対応が必要です。



発行/邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会
編集・印刷/東部教育事務所生涯学習係
〒373-0033 太田市西本町60-27
TEL:0276-31-7151/FAX:0276-31-7101

呂楽郡青少推だより 第13号



令和4年11月1日発行

11月は「子供・若者育成支援推進強調月間」です。

近年、情報化、国際化、少子高齢化の急激な進行など、子供・若者を取り巻く環境は大きく変化しています。

また、新型コロナウイルス感染症の流行によって多くの子供・若者が不安を高め、15歳から39歳の死因の第1位を自殺が占めるなど、孤独・孤立の問題がいつそう深刻さを増しています。

さらに、ユニセフの国際調査によると、日本の子供は「身体的健康」が38カ国中1位であるにもかかわらず「精神的な幸福度」は37位。「社会的スキル」も40カ国中39位と“Well-being”（※）の低さが心配されています。

※身体的・精神的・社会的に良好な状態

人々の意識や興味・関心、生き方・働き方等はますます多様化しています。その一方で「みなと同じでなくてはならない」という同調圧力が根強く存在する日本の社会で、生きづらさを感じている若者は少なくありません。

子供・若者育成支援推進法（H22施行）に基づき策定された「子供・若者育成支援大綱」は、次の5本の柱を基本方針として、子供・若者育成支援を総合的に推進します。

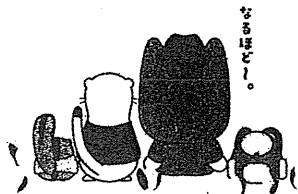
- 1 全ての子供・若者の健やかな育成
- 2 困難を有する子供・若者やその家族の支援
- 3 創造的な未来を切り拓く子供・若者の応援
- 4 子供・若者の成長のための社会環境の整備
- 5 子供・若者の成長を支える担い手の養成・支援

思想・信条、人種、国籍、性別、性的指向・性自認（性同一性）、心身の状況等、個々の違いを認め、尊重しつつ協働していくこと、いわゆる多様性と包摂性（ダイバーシティ&インクルージョン）ある社会を目指すことは、個人の幸せ（Well-being）はもちろん、持続可能な社会の実現のために、とても重要です。

家庭や学校が様々な課題を抱える中、「地域の子供・若者は地域で育てる」という観点から、地域社会に対する期待はますます大きくなっています。

地域社会は、家庭や学校とは異なる人間関係や様々な体験、居場所の提供等を通じて、子供・若者の健やかな成長に大きな役割を有しています。

子供・若者が誰ひとり取り残されず、社会の中で安心できる多くの居場所を持ちながら成長・活躍していけるような地域社会を目指していきましょう。



発行/呂楽郡青少年育成推進員連絡協議会

編集・印刷/東部教育事務所生涯学習係

〒373-0033 太田市西本町60-27

TEL:0276-31-7151/FAX:0276-31-7101

邑楽郡青少推だより 第14号



令和4年11月15日発行

秋の読書推進月間は、書店、出版社、出版取次など、出版界が一丸となって取り組む、28日間の新たなキャンペーンです。

期間中は、書店を巡るスタンプラリーをはじめ、全国で読書関連のイベントが開催されています。

2021年の、紙と電子を合わせた出版物の推定販売金額は約1兆6700億円。紙の出版物のピークだった1996年の3分の2以下にとどまります。全国の書店数も1万2000店を割り込んでいます。キャンペーン取組の背景には、出版不況と街の書店の減少があります。

一方、動画共有アプリ TikTok で紹介された既刊本が、若者らの間でリバイバル人気となる現象も起きています。「ティックトック売れ」とも称され、1分前後で本の魅力を語る動画配信者は「ブックトッカー」と呼ばれています。

昨年7月、男性ブックトッカーが、筒井康隆さんの小説「残像に口紅を」（1989年刊行）を紹介したところ、翌日から全国の書店で品切れが相次ぎました。この本の通常の購読層は60歳以上が中心でしたが、動画公開以降は10～20歳代が半数程度を占め、すでに16万1000部が重版されたそうです。

また、全国学校図書館協議会の学校読書調査によると、小中学生（※）の5月の平均読書冊数は30年前に比べ倍増しています。小学校で広まる「朝読書」などの地道な活動の成果だと考えられていますが、学年が上がると読書冊数は減り、1ヶ月に1冊も読書をしていない割合は、男子の場合、小6で10.4%、中3で31%、高3で68.5%と増加しています。

※よく読まれている本「まんがでよくわかるシリーズ」「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」「ハリーポッターシリーズ」「5分後に意外な結末シリーズ」「ざんねんないきもの事典」など

内閣府の調査によると、10～17歳の1日当たりのインターネット利用時間は、平均4時間24分。9歳以下でも1時間50分。倍速視聴（動画の再生速度を速め、あらすじや結果、結論を得る時間を節約）する風潮も広がっています。

しかし、スマホやデジタル端末に比べて、紙の本は、じっくり作品を味わい、深く理解することができます。そして、読書は「考える力」「感じる力」「表す力」等を育てるとともに、豊かな情操をはぐくみ、全ての活動力の基礎となるものです。

読書を通して、子どもの想像力や語彙力を養い、コミュニケーション能力や、自ら表現できる力が育まれることを願っています。

本の新しい出会い、はじめ。

BOOK
MEETS

2022.10.27 - 11.23

読書、読書の魅力を体験しよう

			本 の 日
11	月	1	日
本屋でまってるよ			

発行/邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会

編集・印刷/東部教育事務所生涯学習係

〒373-0033 太田市西本町60-27

TEL:0276-31-7151/FAX:0276-31-7101

邑楽郡青少推だより 第15号



令和4年12月1日発行

耳の聞こえない親を持つ聞こえる子どもは、コーダ (CODA) と呼ばれます。

コーダの状況は様々ですが、幼い頃から聴者の話を親に通訳したり、外出時に親の手を引いたり、家族を支える役割を果たすことが少なくありません。

彼らは、小学生の頃から「自分の親は周りの人と違う」という違和感を感じるようになります。そして、思春期になると「家で当たり前はよその家庭の当たり前ではない」という不安を感じるようになります。

「普通」であることに敏感な年頃の子どもにとって、こうした違和感や不安感は、友達にわかってもらえず、親に話すこともできません。誰に相談してよいのかわからず、ひとり悩みを抱えてしまうことが多いようです。

発声や聞き取りが難しい親との対話を避ける大人たちの態度と接する中で、「自分の感覚は一般の聞こえる人 (聴者) とは明らかに違う。ろう者や難聴者と喜びや怒りを共有できる一方、聴者と心理的な距離を感じることもある」という言葉に代表されるように、社会との心理的な距離が広がったり、社会や家庭環境に反発を抱いて孤立感を深めたりします。幼少期からろう者の文化に触れた、彼らの独自の経験や価値観は、映画や本 (※) で取り上げられることもあります。

※映画「コーダ あいのうた」(米アカデミー賞 作品賞受賞作品)

「私だけ聴こえる」(ドキュメンタリー作品)

本「ろうの両親から生まれたぼくが聴こえる世界と聴こえない世界を行き来して考えた30のこと」(五十嵐大著 幻冬舎)

家族の世話や介護を日常的に担っている子ども、いわゆるヤングケアラーの4つの支援策 (※) を国がまとめました。

※「早期把握」「相談機能の強化」「家事育児支援」「介護サービスの提供」

マニュアルでは、学校で「遅刻や早退が多い」「提出物が遅れがち」などを発見のきっかけの例としています。

また、当事者本人にその自覚がなかったり、家族の問題を知られたくないと思う子どもが多いことから、「本人抜きで性急に支援を入れようとしない」という支援の心構えを揚げ、一人一人状況の違う子どもに応じて、本人や家族が利用できるサービスの例を列挙しています。

子どもが家事を担うこと自体は、決して悪いことではありません。課題となっているのは、過度な負担が原因で、子どもが子どもらしい生活を過ごすことができないことです。

ヤングケアラー支援では、自治体や専門機関だけでなく、地域の人たちが見守りなどで協力することが欠かせません。子どもの気持ちを大切にしながら、家族の支援ができればと思います。

発行/邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会

編集・印刷/東部教育事務所生涯学習係

〒373-0033 太田市西本町60-27

TEL:0276-31-7151/FAX:0276-31-7101

邑楽郡青少推だより 第16号

令和4年12月15日発行



ドーハの「悲劇」が「奇跡」に、そして、「歓喜」へ

東部教育事務所次長 柿沼 和広

日頃より、近藤千秋会長様をはじめ、邑楽郡の皆様には青少年の健全育成に向けて御尽力いただき、感謝申し上げます。

令和4年度も残すところ3か月程になりました。今年度、東部教育事務所生涯学習係では、「地域と学校の連携・協働の推進」「家庭教育支援の推進」を重点に、「コロナとともに歩む人づくり・地域づくり」を進めて参りました。おかげさまで、開催方法の変更等はありませんでしたが、予定していたほとんどの事業を開催することができました。皆様の御理解・御協力に感謝申し上げます。

邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会におかれましては、新型コロナウイルスの感染拡大により延期されていた「推進研修会」「視察研修会」の2大事業が、今年度は予定通り、かつ盛大に開催されました。心より御祝い申し上げます。私自身、2つの事業に参加させていただき多くのことを学ばせていただきました。

まず、「推進研修会」では、臨床心理士の佐藤文昭先生による講演が行われ、大人として親としての子どものかかわり方を再認識することができました。親として、できることならもう一度子育てをやり直せたらと反省するばかりでした。今後は、学んだことを胸に身近にいる子どもたちとかかわっていきたく心に誓いました。

次に、「視察研修会」では、東京のパナソニック・クリエイティブミュージアムを訪問し、未知の世界を体験しました。短い時間でしたが、童心に帰り楽しいひと時を過ごすことができました。また、「視察研修会」の番外編として行われたシンポジウム（各町会長等座談会）では、邑楽郡5町の会長様方の子どもたちや地域に対する熱い思いと団結を感じることができ大変有意義な時間となりました。邑楽郡の明るい未来を確信いたしました。

さて、まだまだコロナ禍は続きそうですが、世の中は大きく変化してきています。マスクの着用機会が見直されたり、海外からの観光客の来日が緩和されたりして、新しい行動様式を取り入れながらではありますが、従前の日常に近づきつつあります。そのような中、先日行われたサッカーワールドカップ・カタール大会では、森保ジャパン（日本代表）がグループリーグ初戦で強豪ドイツを2-1で破るという「奇跡」のような出来事がありました。第2戦でコスタリカに0-1で敗れましたが、第3戦でスペインを2-1で破り、見事、決勝トーナメント進出を果たしました。まさにドーハの「悲劇」が「歓喜」に変わる瞬間でした。ワールドカップはまだ続いていますが、「勝負事は何が起こるかわからない」「あきらめずに挑戦することの大切さ」を改めて実感しました。子どもたちには、森保ジャパンが与えてくれた「勇気と感動」を忘れずに、「夢と希望」をもって、無限の可能性を信じて、何事にもあきらめずに挑み、未来に向かって羽ばたいてほしいものです。

おわりに、東部教育事務所生涯学習係といたしましては、今後も、「子供たちの未来のための人づくり・地域づくり」に向け与えられた責務を全うしてまいります。推進員の皆様には、今後ともお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。どうぞよろしく願いいたします。